

(仮称)せんだい

支えあいのまち

推進プラン（中間案）

令和3年度－令和8年度

概要版

本計画は社会福祉法第107条に基づく「市町村地域福祉計画」、成年後見制度の利用の促進に関する法律第14条に基づく「市町村成年後見制度利用促進基本計画」、再犯の防止等の推進に関する法律第8条に基づく「地方再犯防止推進計画」を一体的に、本市の支えあいのまちづくりビジョンとして策定するものです。「要援護者自立支援方策」「生活困窮者自立支援方策」「仙台市ホームレス自立支援等取組方針」も盛り込んでいます。

基本的な考え方

・ **仙台市地域保健福祉計画（第1期－第3期）**
基本理念「誰もがそれぞれの地域で、自立し、安心して、自分らしい充実した生活を送ることができるまち」

+

・ **地域共生社会の実現** 制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助けあいながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創っていく

・ **包括的な支援体制の整備** 支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な生活課題について、地域住民や福祉関係者の気づき、関係機関等との連携により、制度や分野の枠にとらわれず解決を図る

・ **仙台市基本計画**の目指す都市の姿の一つ「多様性が社会を動かす共生のまちへ」

・ **SDG s**「だれ一人取り残さない社会の実現」

・ **成年後見制度利用促進** その人の意思に沿った、その人らしい暮らしを支える

・ **再犯防止推進** 犯罪や非行からの立ち直りを支援し、再犯による新たな犯罪被害を防ぐ

基本理念

ともに生き、支えあうまち

基本目標

誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、自分らしく安心して暮らせる地域をみんなでつくる

基本的方向

1 多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進

2 地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化

3 多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進

取り組みの考え方

○人それぞれが持つ多様な価値観や背景をみんなが理解する機会や場づくりを進め、お互いを認めあう社会を醸成する

○地域や社会とのつながりが弱まってしまった方が、つながりを結び直したり、新たにつながりをつくるための安心できる居場所や交流の機会を促進する

○誰もが必要な情報を得られ、誰にとっても利用しやすい生活環境を整備する取り組みを進める

○地域の強みや魅力、課題に住民自身が気づき、地域の特性を生かして課題の解決を図るための取り組みを進める

○特定の担い手に頼るのではなく、誰もが主体的に地域社会と関わりを持ち、ともに地域をつくっていく

○これまでの取り組みや関係性を活かし、多様な地域の担い手が連携・協働し、分野を超えてつながりながら地域づくりを進める

○日常生活の支えあいの力を災害時にも活かす

○本人や世帯の抱える複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、個々の状況に応じて柔軟かつ継続的に対応する

○本人を中心として寄り添う意識を持ち、地域住民と専門職による両方の支援を充実させていく

○地域住民や相談機関、医療機関、福祉関係者など多職種、多機関がつながり、連携を強化しながらそれぞれの支援力を高め、さらに支援の“輪”を広げながら支援機能全体を高めていく

★は重点的な取り組み

方向性と主な取り組み

共生の意識を高める取り組み推進
★地域福祉等への広報・啓発による理解促進／多様性の理解／人権、福祉、防災教育

ニーズに合った多様な居場所づくり
居場所づくり／当事者及び家族の交流／生活困窮世帯の児童生徒への学習支援／多世代交流等

就労や住まいの確保の支援の推進
障害者や高齢者、外国人、DV被害者、刑務所出所者、生活困窮者等への居住支援と就労支援／住宅セーフティネット機能の構築

誰もが暮らしやすい生活環境の整備
交通施設や建築物等のバリアフリー化とバリアフリーの普及啓発／さまざまな方法による情報発信（情報保障）

地域福祉活動への参加と人材育成の促進
地域活動や福祉活動の情報発信／活動事例や課題の共有／地域活動の担い手育成

地域のさまざまな主体による活動の充実・強化
★小地域福祉ネットワーク活動への支援／★民生委員児童委員の活動支援／地域の支援団体の活動への助成／新たな地域活動への支援

多様な主体のつながりによる地域づくりの推進
★CSWによる支援の充実／協働による地域課題への取り組み／地域一体の取り組み推進／地域団体同士のコーディネート機能や活動支援の充実

災害に備える地域づくり
★要援護者支援体制づくりのための啓発・支援／地域の防災意識と防災力の向上／福祉避難所の機能強化等

日頃の見守り活動の促進
★民生委員児童委員の活動支援／さまざまな団体等による見守り活動の促進

身近な相談機能の充実
★CSWと専門機関等による積極的な地域の課題の把握と必要な支援へのつながり、伴走支援／各分野の相談支援機能の充実と、適切な支援につなぐ仕組みづくり

複合的な課題にチームで対応するための仕組みづくり
★社会福祉法改正を踏まえた体制のあり方検討／各相談支援機関の連携による複雑なケース、制度の狭間のケースへの対応強化／地域の支援者と関係機関の支援ネットワークづくり

多様化するニーズに対応する福祉サービスの充実
福祉に関する情報発信／社会福祉法人の地域における公益的な取り組み推進／社会福祉従事者の人材確保・養成

包括的な支援体制の整備の推進

資料2

1 多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進

2 地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化

3 多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進

地域共生社会の実現に向けた取組のイメージ

★は重点的な取り組み

生活困窮者自立支援
自立相談支援体制の充実
★「生活自立・仕事相談センター」における支援／★支援を必要としている方への積極的なつながりと効果的な自立支援
住まいが不安定な方への支援の充実
★ホームレスへの支援、多様なニーズに配慮した地域生活継続の支援／民間の支援団体との連携充実／制度への対応と活用
支援機関、部署等が連携した支援とネットワークの強化
生活困窮者の課題を共有し、連携して支援する仕組みの活用／各支援機関・部署等によるネットワークの強化

成年後見制度利用促進
積極的な権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築
★積極的な権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりの推進／★権利擁護支援への専門職団体の関りや、状況に応じた適切な支援のための仕組みづくり（「協議会」「中核機関」の整備）
市民後見人が活躍できる環境づくり
研修等を受けた市民による後見人（市民後見人）の活動の機会拡充に向けた取り組み推進／活動支援の充実／活躍の場の拡大

再犯防止推進
支援へのつながりと、息の長い支援のための連携促進
★更生支援のネットワークづくり／地域資源等の情報共有
立ち直り支援への理解と協力を広げる
更生支援や更生支援活動への理解促進／セーフティネット住宅、協力雇用主制度の周知／依存症理解の推進
地域での立ち直りを支える取り組みの推進
地域生活を継続するための各種福祉等サービスの実施
被害者支援、地域の安全安心の推進
総合相談窓口等による支援／犯罪が起きにくい環境づくり